

タカネヒゴタイの白花品

土 屋 守*

タカネヒゴダイ (*Saussurea triptera* var. *minor*) はヤハズヒゴダイの高山型で本州中南部の高山砂礫地に見られる。

2005年8月14日に八ヶ岳横岳二十三夜峰の2700m付近の砂礫地でタカネヒゴダイの白花品を見いだした。花は純白で、草丈は10cmほどであった。数株まとまって生育しており、各花茎には、1—2個の頭花をつけていた。母種は普通茎や総苞は多少紅紫色を帯びているが、これは全て緑色であった。

未記録であると思われるので、シロバナタカネヒゴタイとして、ここに記録しておく。



* 土屋 守 〒278-0055 野田市岩名2-46-7